



KONICA MINOLTA

第15回 長尾賞 受賞講演

コニカミノルタ が取り組む 多言語通訳システム

KONICA MINOLTA, INC.
Business Innovation Center Japan
Ken KAWASAKI

コニカミノルタとは

1873年 創業

カメラ
写真用フィルム



コア技術

材料分野
光学分野
画像分野

オフィスサービス分野



ヘルスケア分野



産業用光学システム分野



2014年5月 **新規事業の研究開発**部門である
BIC（ビジネス イノベーション センター）を新設



顧客起点
既存ビジネス以外

使命 mission

BIC Japan は、2014年度に設立された新規事業開発部門です。
コニカミノルタの既存ビジネス領域以外の分野で、
顧客起点に立ち、スピード感をもって、
新規事業プロジェクトを立ち上げることを目的としています。

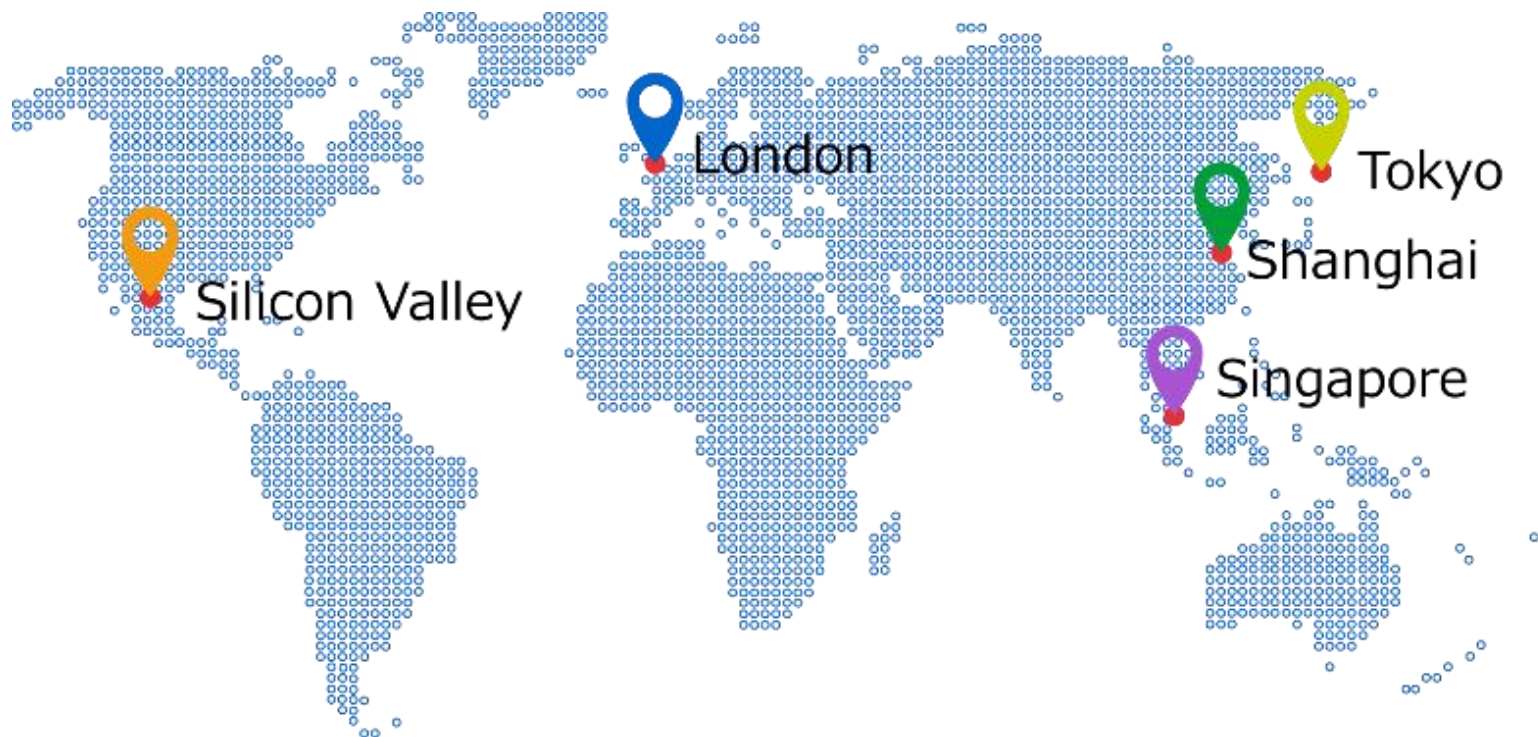


世界5拠点による地域密着プロジェクト



KONICA MINOLTA

- **地域**の市場・顧客に密着
- 社外中心に**多様な**人財を登用
- 新たな企業**文化**の醸成
- 社内外連携による**アジャイル**な事業開発



BICのアプローチ

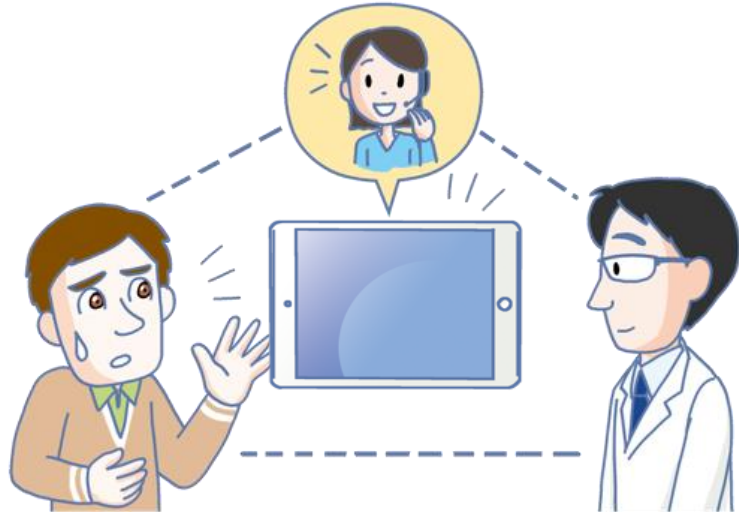
手法 approach

社内の技術を前提とせず、ベンチャー、大学、政府機関など社外の様々な分野のプロフェッショナルと協業するオープンイノベーションを実践します。戦略的なベンチャー投資も行い、会社設立も含めた出口戦略を検討します。



機械通訳 (AI) + 遠隔通訳 (ヒト) を備えた、多言語通訳システム

医療機関向け

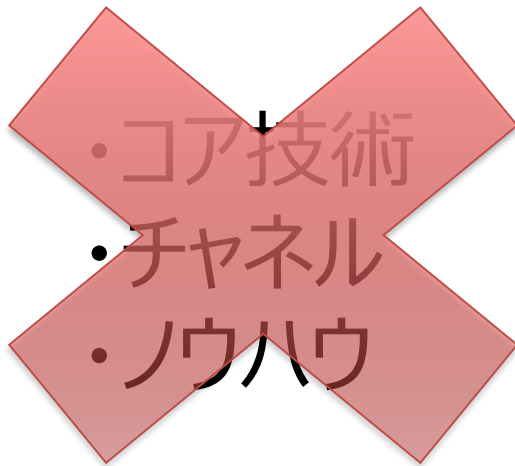


行政・自治体向け

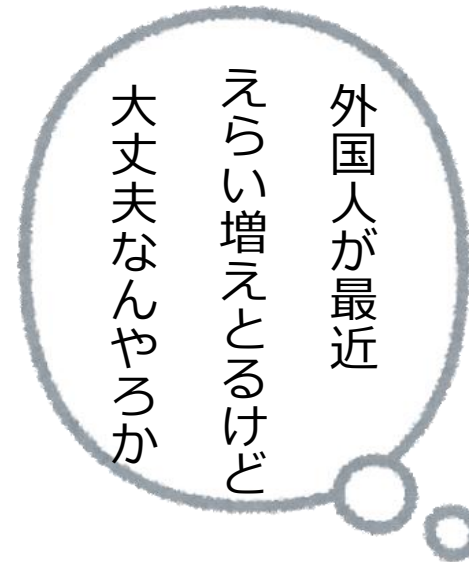


素朴な疑問からPJ発足

2014年 ふと外国人が増えてることに気付く・・・



- ・顧客起点
- ・既存事業以外



MELONリリース当初の苦難

顧客の反応

- ✓ 外国人は日本人に比べると少数なので影響は少ない
- ✓ 通訳ができる職員がいるから通訳システムは不要
- ✓ 電話通訳があるので機械通訳の出番はない



現場検証で見えてきたこと

- ✓ 外国人は日本人に比べると少数なので影響が少ない
⇒ 外国人患者の対応は例外が多く現場負担が大きい
- ✓ 通訳ができる職員がいるから通訳システムは不要
⇒ 通訳できる職員が不在の夜間トラブルに対応できない
- ✓ 電話通訳があるので機械通訳の出番はない
⇒ 簡単な会話なら機械通訳の方がすぐに利用できて便利

遠隔通訳システムへの取り組み

2016年11月

医療機関向けに「MELON」を提供開始



2020年7月

行政・自治体向けに「KOTOBAL」を提供開始



「機械」と「ヒト」のハイブリッド通訳

機械通訳（機械）



- AI技術によるアプリ通訳
- 起動が早くとても簡単
- 短い言葉のやり取りが得意

- 方言
- 重い話
- トラブル

遠隔通訳（ヒト）



- ヒトによる通訳
- 方言や固有名詞にも対応
- 時間はかかるけど確実

24時間365日

サブスクリプション

提供価値

医療や行政の専門職のためのプロ用のソリューション

B to **B** to **P** for **P**



医療や行政の
Professional

医療従事者
官公庁職員



Person

在留外国人
訪日外国人



翻訳・通訳

顧客に受け入れられるソリューションを目指して

- 現場検証を通じて**顧客の本音**を探る
- 顧客を取り巻く**環境変化**を常にウォッチする
- 課題を**俯瞰的**に把握・理解する
- アジャイルで**素早く**新機能を提供し、顧客の反応を得る



KONICA MINOLTA



KONICA MINOLTA